

全経簿記上級 過去問題集

出題傾向と対策

〈別冊〉 解答用紙

も く じ

第177回	商業簿記	2	第177回	工業簿記	38
	会計学	4		原価計算	40
第179回	商業簿記	6	第179回	工業簿記	42
	会計学	8		原価計算	46
第181回	商業簿記	10	第181回	工業簿記	48
	会計学	12		原価計算	50
第183回	商業簿記	14	第183回	工業簿記	52
	会計学	16		原価計算	54
第185回	商業簿記	18	第185回	工業簿記	56
	会計学	20		原価計算	58
第187回	商業簿記	22	第187回	工業簿記	60
	会計学	24		原価計算	62
第189回	商業簿記	26	第189回	工業簿記	64
	会計学	28		原価計算	66
第191回	商業簿記	30	第191回	工業簿記	68
	会計学	32		原価計算	70
第193回	商業簿記	34	第193回	工業簿記	72
	会計学	36		原価計算	74

問題 1

問 1

(a)	
-----	--

(b)	
-----	--

問 2

(a) 勘定

(b) 勘定

問題 2

	損	益	(単位：千円)
仕 入	〔	売 上	〕
営 業 費	9,300	ソ フ ト ウ ェ ア 売 上	960
社 債 利 息	〔	受 取 配 当 金	38
支 払 利 息	〔	()	〕
棚 卸 減 耗 損	〔	()	〕
商 品 評 価 損	〔	()	〕
貸 倒 引 当 金 繰 入	〔	()	〕
その他有価証券評価損	〔	()	〕
減 価 償 却 費	〔		
社 債 発 行 費 償 却	〔		
法 人 税 等	1,200		
()	〔		
()	〔		
()	〔		
()	〔		
()	〔		
	〕		〕

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

		用 語	
問 1	(a)		
	(b)		
	(c)		
	(d)		

		金 額	
問 1	(e)	万円	
	(f)	万円	

問 2

問題 3

問 1

(計算過程)
当期商品仕入高 (答) 万円

問 2

(計算過程)
当期の仕入支出 (答) 万円

問 3

(計算過程)
当期の営業収入 (答) 万円

問 4

問題 1

(単位：円)

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
問 1				
問 2				

問題 2

損 益

(単位：円)

仕 入	[]	売 上	64,000
営 業 費	12,602	受 取 配 当 金	30
貸 倒 引 当 金 繰 入	[]	受 取 利 息	[]
減 価 償 却 費	[]	有 価 証 券 利 息	[]
支 払 利 息	[]	為 替 差 損 益	[]
退 職 給 付 費 用	[]	()	[]
社 債 利 息	[]	()	[]
()	[]	()	[]
()	[]	()	[]
()	[]	()	[]
()	[]		
()	[]		
	[]		
	[]		

問題 1

番号	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

(金額の単位は千円とする)

問1		(a)	基準	(b)	基準
問2		借方		貸方	
		勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(1)				
	(2)				
問3		借方		貸方	
		勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(1)				
	(2)				
問4					

(注) 仕訳が不要な場合には、借方の勘定科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

問題3

(金額の単位は円とする)

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	
キ		ク		ケ	
コ					

問題 1

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問 1					
問 2	(1)	A社			
		B社			
	(2)	A社			
		B社			

問題 2

		損 益		(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額	
仕 入	[]	売 上	37,200	
給 料	6,380	受 取 配 当 金	960	
旅 費 交 通 費	[]	[]	[]	
貸倒引当金繰入額*1	[]	[]	[]	
減 価 償 却 費*2	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
合 計	[]	合 計	[]	

* 1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

* 2 建物と備品の減価償却費を合計して記入すること。

		残 高		(単位：千円)
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
現 金	[]	支 払 手 形	[]	
受 取 手 形	[]	買 掛 金	[]	
売 掛 金	[]	[]	[]	
売買目的有価証券	[]	未 払 法 人 税 等	[]	
繰 越 商 品	[]	貸 倒 引 当 金*3	[]	
[]	[]	建 物 減 価 償 却 累 計 額	[]	
建 物	[]	備 品 減 価 償 却 累 計 額	[]	
備 品	[]	預 り 保 証 金	[]	
その他有価証券	[]	退 職 給 付 引 当 金	[]	
関 連 会 社 株 式	[]	繰 延 税 金 負 債	[]	
破 産 更 生 債 権 等	[]	資 本 金	[]	
[]	[]	資 本 準 備 金	[]	
[]	[]	そ の 他 資 本 剰 余 金	[]	
[]	[]	利 益 準 備 金	[]	
自 己 株 式	[]	任 意 積 立 金	[]	
[]	[]	繰 越 利 益 剰 余 金	[]	
[]	[]	[]	[]	
[]	[]	[]	[]	
合 計	[]	合 計	[]	

* 3 貸倒引当金は、本来、設定対象となっている債権ごとに算定される必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金をまとめて記入すること。

* 4 勘定科目が示されている項目の金額がゼロの場合には、0を記入すること。

問題1

番号	正誤	理由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問1

(金額単位：千円)

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	
キ		ク			

問 2

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問 3

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問題 3

問 1

(a)		(b)		(c)	
-----	--	-----	--	-----	--

問 2

(単位：千円)

①		②		③	
④					

問 3

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問題 1

(単位：千円)

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問 1	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)				

<次ページへ続く>

問題 2

連結精算表

01年4月1日～02年3月31日

(単位：千円)

貸借対照表	P社(親会社)		S社(子会社)		修正・消去		連結	
	資産	負債純資産	資産	負債純資産	借方	貸方	資産	負債純資産
現金及び預金	14,750		7,500					
S社・売掛金	9,000							
貸倒引当金		90						
売掛金			6,000					
貸倒引当金				180				
商品	8,000							
P社・商品			2,500					
建物	6,000		3,000					
減価償却累計額		2,400		1,200				
備品	2,000		1,000					
減価償却累計額		800		400				
土地	15,000		4,000					
S社・株式	9,500							
のれん								
繰延税金資産	50							
買掛金		3,710						
P社・買掛金				9,000				
繰延税金負債				120				
資本		40,000		10,000				
利益剰余金		17,300		3,100				
評価差額								
非支配株主持分								
	64,300	64,300	24,000	24,000				

<次ページへ続く>

問題 1

<前ページから続く>

(単位：千円)

		借方科目	金額	貸方科目	金額
問2	(1)				
	(2)				
	(3)				

問題 2

<前ページの貸借対照表から続く>

損益計算書	費用	収益	費用	収益	借方	貸方	費用	収益
売上高		24,500		30,000				
売上原価	20,100		25,000					
給料	1,800		1,500					
減価償却費	240		120					
貸倒引当金繰入額	20		60					
S社・受取配当金		280						
その他の費用	1,420		1,720					
のれん償却額								
固定資産売却益		150						
非支配株主損益								
法人税等	500		450					
法人税等調整額		50	150					
計	24,080	24,980	29,000	30,000				
当期純利益※	900		1,000					
	24,980	24,980	30,000	30,000				
株主資本等変動計算書	減少	増加	減少	増加				
資本金								
当期首残高		40,000		10,000				
期中変動	—	—	—	—				
計	0	40,000	0	10,000				
当期末残高	40,000		10,000					
	40,000	40,000	10,000	10,000				
利益剰余金								
当期首残高		17,000		2,500				
期中変動								
剰余金配当	600		400					
当期純利益※		900		1,000				
計	600	17,900	400	3,500				
当期末残高	17,300		3,100					
	17,900	17,900	3,500	3,500				
非支配株主持分								
当期首残高								
期中変動								
計								
当期末残高								

※連結の場合には、「親会社株主に帰属する当期純利益」となる。

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1	用 語	
	(a)	
	(b)	
	(c)	

問 1	用 語	
	(d)	
	(e)	

問2

(1)	①	②
(2)		

問3

問題3

	用語	計算式	意味
例示	売上高売上総利益率	$\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}} \times 100$	売上高に占める粗利の割合
(1)	ROE	_____ $\times 100$	
(2)	配当性向	_____	
(3)	流動比率	_____ $\times 100$	

問題 1

(単位：千円)

		借 方		貸 方	
		勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
問 1	(1)				
	(2)				
問 2	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				

問題 2

(単位：千円)

損		益	
仕 入	[]	売 上	[]
営 業 費	11,500	ソフトウェア売上	780
社 債 利 息	[]	受 取 配 当 金	50
支 払 利 息	[]	()	[]
貸 倒 引 当 金 繰 入	[]	()	[]
減 価 償 却 費	[]	()	[]
社 債 発 行 費 償 却	[]	()	[]
法 人 税 等	850		
()	[]		
()	[]		
()	[]		
()	[]		
()	[]		
()	[]		
	[]		

		閉鎖残高			(単位：千円)
現金		1,800	支払手形		3,500
当座預金		6,310	買掛金		2,800
受取手形		5,100	未払法人税等	[]	
売掛金	[]		未払利息	[]	
売買目的有価証券	[]		借入金	[]	
買建オプション	[]		貸倒引当金	[]	
繰越商品	[]		社債	[]	
備品	[]		備品減価償却累計額	[]	
車両		5,000	車両減価償却累計額	[]	
その他有価証券	[]		資本金		12,000
ソフトウェア	[]		資本準備金		1,300
社債発行費	[]		利益準備金		900
()	[]		繰越利益剰余金	[]	
()	[]		()	[]	
()	[]		()	[]	
()	[]		()	[]	
	[]			[]	
	[]			[]	

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題 2

問 1

1.		2.	
3.		4.	

問 2

(単位：千円)

退職給付債務額		年金資産額	
---------	--	-------	--

問3

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額

問題3

問1

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	[]
商品の()	[]
人件費の支出		△ 490
その他の営業支出		△ 150
小 計	[]
()の受取額	[]
()の支払額	[]
営業活動によるキャッシュ・フロー	[]
投資活動によるキャッシュ・フロー		
()による収入	[]
()による支出	[]
投資有価証券の取得による支出	[]
投資活動によるキャッシュ・フロー	[]
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		280
短期借入金の返済による支出		△ 290
()による収入	[]
()の支払額	[]
財務活動によるキャッシュ・フロー	[]
現金及び現金同等物の増減額	[]
現金及び現金同等物の期首残高		70
現金及び現金同等物の期末残高	[]

[注] マイナスは、金額の前に△を付す。たとえば、マイナス100は、△100と表示する。

問2

原因の1つ	
判断した理由	

問題 1

問 1	借方科目	金額	貸方科目	金額
		土地	2,000,000	<input type="text"/>
			<input type="text"/>	{ }
	<input type="text"/>	{ }	<input type="text"/>	{ }
	資本金	3,000,000	S社株式	{ }
	資本剰余金	400,000	非支配株主持分	{ }
	利益剰余金	600,000		
	<input type="text"/>	{ }		
	<input type="text"/>	{ }		

問 2		借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	X社				
	Y社				
(2)	X社				
	Y社				

問 3

繰越利益剰余金

6/20	諸口	{ }	4/1	前期繰越	850,000
3/31	<input type="text"/>	{ }	3/31	<input type="text"/>	{ }

その他資本剰余金

6/20	諸口	{ }	4/1	前期繰越	320,000
12/8	<input type="text"/>	{ }	1/9	<input type="text"/>	{ }
			3/31	<input type="text"/>	{ }

問題2

損		益	
(単位：千円)			
借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	[]	売上	86,200
給料	8,400	受取利息	[]
旅費交通費	[]	受取配当金	[]
貸倒引当金繰入額 *1	[]	投資有価証券売却益	1,794
減価償却費 *2	[]	[]	[]
支払地代	[]	[]	[]
社債利息	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
合計	[]	合計	[]

* 1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

* 2 建物と備品の減価償却費を合計して記入すること。

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問 1	用 語	
	(a)	
	(b)	
	(c)	

問 1	用 語	
	(d)	
	(e)	
	(f)	

問2

--

問3

(1)	
(2)	

問題3 選択肢：(ア)増加する (イ)減少する (ウ)変わらない

		解 答
(1)	①売上原価の金額	
	②期末商品棚卸高	
(2)	①有価証券評価損の金額	
	②その他有価証券の金額	
(3)	①減価償却費の金額	
	②備品の帳簿価額	

問題1
問1

(単位：億円)

年度	借方科目	金額	貸方科目	金額
第1年度				
第2年度				
第3年度				
第4年度				

問題2

損 益

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	{ }	売上	{ }
給料手当	10,000	受取利息配当金	{ }
法定福利費	750	法人税等調整額	{ }
退職給付費用	{ }		
旅費交通費	800		
支払地代	{ }		
減価償却費	{ }		
資産除去債務調整額	{ }		
貸倒引当金繰入(販売費)	{ }		
社債利息	{ }		
為替差損益	{ }		
貸倒引当金繰入(営業外費用)	{ }		
関連会社株式評価損	{ }		
繰越利益剰余金	{ }		
合計	{ }	合計	{ }

問題1
問2

(単位：百万円)

会社	借方科目	金額	貸方科目	金額
C社				
D社				

問題2

閉鎖残高

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	350	買掛金	10,000
当座預金	2,000	外貨建買掛金	1,070
売掛金	12,500	貸倒引当金	[]
先物取引差金	[]	建物減価償却累計額	[]
商用品	[]	備品減価償却累計額	[]
仮払消費税	0	仮受消費税	0
前払地代	[]	未払利息	[]
前払費用	[]	未払消費税	[]
繰延税金資産	[]	繰延税金負債	[]
建物	[]	社債	[]
備品	3,000	退職給付引当金	[]
その他有価証券	[]	資産除去債務	[]
長期貸付金	1,500	資本金	30,000
差入保証金	40	資本準備金	1,000
関連会社株式	[]	利益準備金	2,000
その他有価証券評価差額金	[]	任意積立金	6,300
		繰越利益剰余金	[]
		繰延先物損益	[]
合計	[]	合計	[]

問題 1

	正誤	理 由
1.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
2.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
3.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
4.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
5.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
6.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
7.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
8.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
9.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
10.		<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問題2

問1	用 語	
	(a)	
	(b)	
	(c)	

問1	用 語	
	(d)	
	(e)	
	(f)	

問2

例 示	市場価格の下落・市場の需給変化
原因 ①	
原因 ②	

問3

問4

①	
②	

問題3 (計算過程がわかるように計算式を示すこと)

	計算式(単位：万円)	解答(単位：万円)
問1		
問2		
問3		

問題 1

問 1

(単位：千円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問題 2

損 益

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	[]	売 上	[]
給 料 手 当	16,000	受 取 利 息	100
交 通 費	800	為 替 差 損 益	[]
水 道 光 熱 費	700		
減 価 償 却 費	[]		
貸 倒 引 当 金 繰 入	[]		
支 払 利 息	[]		
商品評価損(特別損失)	[]		
固 定 資 産 除 却 損	[]		
法 人 税 等	2,360		
法 人 税 等 調 整 額	[]		
繰 越 利 益 剰 余 金	[]		
合 計	[]	合 計	[]

問題1
問2

(単位：千円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

問題2

閉鎖残高

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	2,050	買掛金	18,000
当座預金	8,300	貸倒引当金	[]
売掛金	[]	仮受金	0
繰越商品	[]	仮受消費税	0
未着品	0	未払法人税等	[]
仮払金	0	未払消費税	[]
仮払法人税等	0	繰延税金負債	[]
仮払消費税	0	建物減価償却累計額	[]
繰延税金資産	[]	備品減価償却累計額	[]
建物	[]	リース資産減価償却累計額	[]
備品	40,000	リース債務	[]
土地	3,900	資本金	50,000
リース資産	5,512	その他資本剰余金	[]
その他有価証券	[]	利益準備金	10,700
自己株式	[]	繰越利益剰余金	[]
その他有価証券評価差額金	[]		
合計	[]	合計	[]

注意：計算結果がゼロである場合、0と記入すること。

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問1	(a)	
	(b)	
	(c)	
	(d)	
	(e)	
	(f)	

問2

問3

--

問題3 (問1及び問2については解だけでなく計算過程も書くこと)

問1	計算過程：	解： %
問2	計算過程：	解： %
問3		

問題 1

イ	
ロ	千円
ハ	千円
ニ	
ホ	千円

問題 2

取得時(X1年4月1日)

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

3年目決算時(X4年3月31日)

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

4年目決算時(X5年3月31日)

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題3

閉鎖残高

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	99,570	支払手形	2,700
当座預金	[]	買掛金	11,700
受取手形	3,000	長期借入金	21,000
売掛金	[]	社債	[]
売買目的有価証券	[]	退職給付引当金	[]
繰越商品	[]	貸倒引当金	[]
建物	600,000	建物減価償却累計額	[]
備品	8,200	備品減価償却累計額	[]
子会社株式	[]	資本金	400,000
その他有価証券	[]	資本準備金	2,500
[]	[]	利益準備金	7,550
[]	[]	繰越利益剰余金	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]

(注)すべての空欄に語句または数値が入るとはかぎらない。

問題 1

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問1	用語
(a)	
(b)	
(c)	
(d)	
(e)	

問2

問3

<hr/> <hr/> <hr/>

問題3

問1

<hr/> <hr/> <hr/>

193

問2

<hr/> <hr/> <hr/>

問 1

製品単位当たり標準変動製造費	円
半製品単位当たり標準変動製造費	円

問 2

月末仕掛品標準原価	円	月末製品標準原価	円
標準売上原価	円		

問 3

直接材料費	価格差異	円 ()
	数量差異	円 ()
第 1 工程 直接労務費	賃率差異	円 ()
	時間差異	円 ()
第 1 工程 変動製造間接費	予算差異	円 ()
	能率差異	円 ()

問 4

		第 2 工程仕掛品 — 直接労務費		(単位：円)	
前 月	繰 越	()	()	()	()
賃	金	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()

問 5 利益計算において控除する金額の前にはすべて△をつけなさい。

月次損益計算書		(単位：円)
売上高	()	
標準売上原価	()	
標準変動製造マージン	()	
標準変動販売費	()	
標準 ()	()	
変動費差異	()	
実際 ()	()	
固定製造間接費予算	()	
予算差異	()	
固定販売費・一般管理費予算	()	
予算差異	()	
営業利益	()	

問6

損益分岐点売上高	円
----------	---

問7

	第1工程	第2工程
予算差異	円 ()	円 ()
能率差異	円 ()	円 ()
操業度差異	円 ()	円 ()

問8 調整計算において控除する金額の前に△をつけなさい。

(単位：円)

直接標準原価計算による 実際営業利益	3,200,000
期末分固定製造間接費	()
期首分固定製造間接費	()
全部標準原価計算による 実際営業利益	()

問9

問題 1

- 問 1 (1) 円
(2) 円
(3) 円
(4) 円

- 問 2 (1) 円
(2) 円
(3) 円
(4) 円

- 問 3 案を採用すべき
(a) 旧機械を使用し続けた場合の正味現在価値 円
(b) 旧機械を売却し、新機械を購入した場合の正味現在価値 円

問題 2

問 1 年

問 2 収益性指数が なので、
設備投資を [行うべき , 行うべきでない] (どちらかを丸で囲む)

問 3 %
 ので、
設備投資を [行うべき , 行うべきでない] (どちらかを丸で囲む)

問 4 [常に正しい , 常に正しいとは言えない] (どちらかを丸で囲む)
常に正しいとは言えないを選択した場合、正しくなくなる可能性が生じる事例

問 5

問 1

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：円)

	切削部門			組立部門		
	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計
第1次集計額	762,200	1,612,875	2,375,075	285,000	429,625	714,625
第2次集計額	[]	[]	[]	[]	[]	[]
部門費合計	[]	[]	[]	[]	[]	[]

問2 (1)

$$a = 3,520,000 + [\quad] b$$

$$b = 3,937,500 + [\quad] a$$

(2) $a = [\quad]$, $b = [\quad]$

(3)

切削部門		組立部門	
動力部門費	水道部門費	動力部門費	水道部門費
[] 円	[] 円	[] 円	[] 円

問3

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：円)

	切削部門			組立部門		
	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計
第1次集計額	762,200	1,612,875	2,375,075	285,000	429,625	714,625
第2次集計額	[]	[]	[]	[]	[]	[]
部門費合計	[]	[]	[]	[]	[]	[]

問4

切削部門			組立部門		
変動費率	固定費率	予定配賦率	変動費率	固定費率	予定配賦率
[]円/h	[]円/h	[]円/h	[]円/h	[]円/h	[]円/h

問5

問6

原価計算表

(単位：円)

製造指図書番号	# 1	# 2	# 3	# 1 - R	# 2 - 2
直接材料費	[]	[]	[]	[]	[]
直接労務費	[]	[]	[]	[]	[]
製造間接費					
切削部門費	[]	[]	[]	[]	[]
組立部門費	[]	[]	[]	[]	[]
仕損売却収入	—	[]	—	—	—
作業屑売却収入	—	—	[]	—	—
仕損費振替	[]	[]	—	[]	[]
合 計	[]	[]	[]	[]	[]

(マイナスには△をつけること。)

問7

切削部門費

諸	口	[]	仕	掛	品	[]	
原	価	差	異	原	価	差	異	[]

予算差異 (切削部門)

操業度差異 (切削部門)

原価差異 []	原価差異 []	原価差異 []	原価差異 []
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---

組立部門費

諸	口	[]	仕	掛	品	[]	
原	価	差	異	原	価	差	異	[]

予算差異 (組立部門)

操業度差異 (組立部門)

原価差異 []	原価差異 []	原価差異 []	原価差異 []
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---

問8

問題 1

問 1

A 原料	ℓ
B 原料	ℓ

問 2

製品 100 ℓ あたり標準原価	円
当月完成品標準原価	円

問 3 A原料費差異

価格差異	円		
配合差異	円	歩留差異	円

加工費差異

変動加工費 予算差異	円	固定加工費 予算差異	円
能率差異	円	操業度差異	円

問 4

円	計算過程
---	------

問 5

円	計算過程
---	------

問 6 適切な案を○で囲み、カッコ内に金額を補充すること。

(現状案 A原料を自社製造する案) のほうが、製品 100 ℓ 当たり [] 円有利である。

問題2

問1

	正誤	理由
1		
2		
3		
4		

問2

①		円
②		円
③		円

問題 1

問 1

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額

問 2

月 末 仕 掛 品 原 価	円	異 常 仕 損 品 原 価	円
---------------	---	---------------	---

問 3

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額

問 4

月 末 仕 掛 品 原 価	円
---------------	---

問 5

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額

問 6

月 末 仕 掛 品 原 価	円	第 2 工 程 振 替 額	円
---------------	---	---------------	---

問 7

第 2 工 程 仕 掛 品 (工 程 完 了 品 X)

前 月 繰 越 []	製 品 []
第 1 工 程 仕 掛 品 []	次 月 繰 越 []

第 2 工 程 仕 掛 品 (原 料 B)

前 月 繰 越 []	製 品 []
原 料 []	次 月 繰 越 []

第2工程仕掛品(加工費)

前 月 繰 越 []	製 品 []
諸	口 [次 月 繰 越 []

問8

第2工程仕掛品(原料B)

前 月 繰 越 []	製 品 []
原	料 [次 月 繰 越 []

- 問9 累加法では、工程完了品原価を として次工程に振り替え、最終の完成品原価を算定するのに対し、非累加法では、工程完了品原価を次工程に振り替えないで、各 ごとの最終の完成品原価を直接に算定する。

問題2

目的①：

目的②：

範 囲：

問題 1

問 1 部品 X [] 円／個 部品 Y [] 円／個 製品 Z [] 円／個
 部品 X [] 円／h 部品 Y [] 円／h

問 2 貢献利益の総額 [] 円

問 3 貢献利益の総額 [] 円

問 4

問 5 [] 円／個

問 6 部品事業部の貢献利益総額 [] 円

 製品事業部の貢献利益総額 [] 円

問題 2

問 1

 予算損益計算書(直接原価計算方式) (単位:円)

売 上 高	[]				
変 動 売 上 原 価	[]				
変 動 製 造 マ ー ジ ン	[]				
変 動 販 売 費	[]				
貢 献 利 益	[]				
固 定 製 造 原 価	[]				
固 定 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	[]				
営 業 利 益	[]				

問 2 損益分岐点販売量 [] 個

 安全余裕率 [] %

 経営レバレッジ係数 []

問3 数値にはプラス・マイナスをつけず，不利な差異か有利な差異かに○をすること。

販売価格差異 []円 (不利・有利)

販売数量差異 []円 (不利・有利)

市場占有率差異 []円 (不利・有利)

市場総需要量差異 []円 (不利・有利)

問1

副産物評価額	円
第1工程月末仕掛品原価	円
第1工程完了品原価	円

問2

(金額単位：円)

第1工程仕掛品

前月繰越	[]	第2工程仕掛品	[]
材料	[]	()	[]
加工費	[]	()	[]
	[]	()	[]
	[]		[]

副産物

前月繰越	[]	()	[]
()	[]	()	[]
	[]		[]

問3

	前工程費	追加材料費	加工費	合計
第2工程月末仕掛品原価	円	円	円	円
第2工程完了品原価	円	円	円	円

問4

	当月販売高
副産物	円
中間製品X	円
製品X	円

問5

(金額単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問6

(金額単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問7

(ア)		(イ)		(ウ)	
(エ)		(オ)			

問8 割り切れない場合には、小数点以下第3位を四捨五入すること。

(等価係数)第1工程完了品X：第1工程完了品Y = 1 :

問9

第1工程月末仕掛品原価		円
第1工程完了品X原価		円
第1工程完了品Y原価		円

問10

問題 1

問 1 [] 年

問 2 第 1 年度 [] 円 第 2 年度 [] 円
第 3 年度 [] 円 第 4 年度 [] 円

問 3 [] %

問 4 第 1 年度 [] 円 第 2 年度 [] 円
第 3 年度 [] 円 第 4 年度 [] 円

問 5

(1) [] 年

(2) [] 年

問 6 [] %

問 7 [] 円

問 8

(1) [] 円

(2) [] 円

問題2

問1

(ア) [] %

(イ) [] %

(ウ) [] 円

(エ) [] %

(オ) [] %

問2

「事業部自体を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

「事業部長を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

問題 1

問 1 基準操業度 []時間

問 2 変動費率 []円/時間 固定費 []円

問 3 予定配賦率 []円/時間

問 4

(単位：円)

	No.1	No.2	No.3	No.1-R	No.2-2
直接材料費	[]	[]	[]	[]	[]
直接労務費	[]	[]	[]	[]	[]
製造間接費	[]	[]	[]	[]	[]
作業屑売却収入	—	—	[]	—	—
仕損売却収入	—	[]	—	—	—
仕損費振替	[]	[]	—	[]	[]
合計	[]	[]	[]	[]	[]

*マイナスには△をつけること。

問 5

製造間接費

諸 口 []	予 定 配 賦 額 []
予 算 差 異 []	予 算 差 異 []
操 業 度 差 異 []	操 業 度 差 異 []

予 算 差 異

操 業 度 差 異

製造間接費 []	製造間接費 []	製造間接費 []	製造間接費 []
-----------	-----------	-----------	-----------

問 6

.....

.....

.....

問題2

問1

	等級製品X	等級製品Y	等級製品Z
原材料費	円	円	円
加工費	円	円	円

問2

等級製品Xの正常減損費 [] 円

等級製品Yの正常減損費 [] 円

問3

等級製品Xの完成品原価 [] 円

等級製品Yの完成品原価 [] 円

問4

	連産品P	連産品Q
分離点後実際加工費	円	円
連結原価配賦額	円	円
計	円	円

問5

.....

.....

.....

問題 1

問 1 製品X 単位当たり製造原価 []円 / 単位

営業利益 []円

問 2 営業利益 []円

製品X の月間生産・販売量 []単位

問 3 営業利益 []円

製品X-2 の月間生産・販売量 []単位

問 4 製品X の生産・販売量を a, 製品X-2 の生産・販売量を b とする。なお, []には数値, ()には等号または不等号を記入すること。

目的関数: []円 / 単位 $\times a$ + []円 / 単位 $\times b$ の最大化

制約条件式:

材料消費制約 [] $\times a$ + [] $\times b$ () []

作業時間制約 [] $\times a$ + [] $\times b$ () []

販売量制約 [] $\times a$ () []

[] $\times b$ () []

非負条件 $a \geq 0, b \geq 0$

製品X の月間生産・販売量 []単位

製品X-2 の月間生産・販売量 []単位

営業利益 []円

問 5

.....

 変化する可能性がある制約条件を○で囲みなさい。

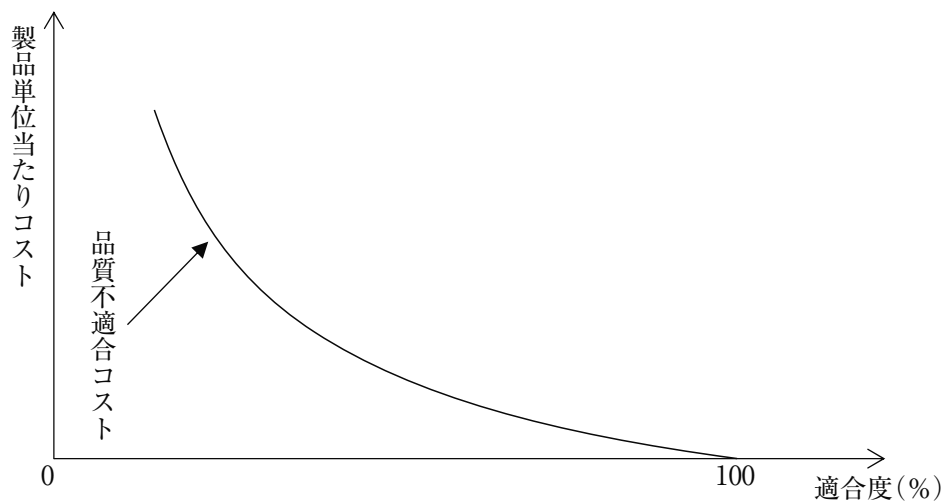
材料消費制約 作業時間制約 販売量制約

問題2

問1

A _____ B _____ C _____ D _____ E _____

問2



問3

(A)コスト []百万円 (C)コスト []百万円
 (D)コスト []百万円 (E)コスト []百万円

問4

.....

問5

.....

問題 1

問 1

1		2		3		4		5	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問 2

購入代価

材料A 〔 〕円 材料B 〔 〕円

取得原価

材料A 〔 〕円 材料B 〔 〕円

問 3

		材 料	
前月繰越	〔 〕	仕掛品	〔 〕
諸口(当月購入分)	〔 〕	製造間接費	〔 〕
材料消費価格差異	〔 〕	材料消費価格差異	〔 〕
		次月繰越	〔 〕
	〔 〕		〔 〕

(注)金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

問 4

直接工賃金の間接労務費分 〔 〕円

間接工賃金・給料の間接労務費分 〔 〕円

問 5

		賃 金 ・ 給 料	
諸口(当月支払分)	〔 〕	未払賃金給料	〔 〕
未払賃金給料	〔 〕	仕掛品	〔 〕
賃率差異	〔 〕	製造間接費	〔 〕
		賃率差異	〔 〕
	〔 〕		〔 〕

(注)金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

問6

.....

.....

問7

製造間接費配賦差異 []円 (有利差異 ・ 不利差異)
 該当する方を○で囲むこと

予算差異 []円 (有利差異 ・ 不利差異)
 該当する方を○で囲むこと

操業度差異 []円 (有利差異 ・ 不利差異)
 該当する方を○で囲むこと

工簿原計

問8

借 方	金 額	貸 方	金 額

問9

187

問題2

問1

価格差異 []円 (有利差異 ・ 不利差異)
 該当する方を○で囲むこと

数量差異 []円 (有利差異 ・ 不利差異)
 該当する方を○で囲むこと

問2

.....

.....

問題 1

金額がマイナスの場合は△を付けること。

問 1 〔 〕万円

問 2 〔 〕万円

問 3 〔 〕万円

問 4 〔 〕万円

問 5 ()案の方が()案よりも正味現在価値が〔 〕万円大きいので有利である。

問 6

.....

問題 2

問 1

製品 A 〔 〕円／時間

製品 B 〔 〕円／時間

製品 C 〔 〕円／時間

問 2

製品 A	製品 B	製品 C
個	個	個

貢献利益の総額 〔 〕円

問3

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額 [] 円

問4

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額 [] 円

問5

損益分岐点売上高 [] 円

問題 1

問 1

補助部門費の予定配賦率 [] 円／単位

補助部門費配賦額

第 1 部門 [] 円

第 2 部門 [] 円

第 3 部門 [] 円

問 2

	予定配賦率	仕掛品への配賦額
第 1 部門	[] 円／h	[] 円
第 2 部門	[] 円／h	[] 円
第 3 部門	[] 円／h	[] 円

問 3

補助部門の配賦差異 [] 円

第 1 部門配賦差異 [] 円

変動費予算差異 [] 円 固定費予算差異 [] 円

操業度差異 [] 円

問 4

加工時間 1 時間当たりサービス提供量 [] 単位／h

補助部門における追加的なサービス提供量 [] 単位

問 5

--

第 1 製造部門費 [] 円

計算過程

--

問6

--

問題2

問1

	月末仕掛品原価	当月完成品原価
直接材料費	{ }円	{ }円
加工費	{ }円	{ }円
合計	{ }円	{ }円

問2

借方	金額	貸方	金額

問3

評価上の差額 { }円

問題 1

問 1

変動売上原価〔 〕円 変動販売費〔 〕円

貢献利益〔 〕円 営業利益〔 〕円

問 2

利益剰余金〔 〕円

問 3

売掛金回収による現金流入見積額〔 〕円

問 4

製品所要在庫数量〔 〕個

原料所要在庫数量〔 〕kg

問 5

買掛金支払による現金流出見積額〔 〕円

原料購入による現金流出見積額〔 〕円

問 6

現金〔 〕円

問題2

問1

予算
売上高〔 〕円 貢献利益〔 〕円

実績
売上高〔 〕円 貢献利益〔 〕円

問2

価格差異

製品A〔 〕円（ ）差異 製品B〔 〕円（ ）差異

(広義の)数量差異

製品A〔 〕円（ ）差異 製品B〔 〕円（ ）差異

問3

セールス・ミックス差異〔 〕円（ ）差異

(狭義の)数量差異〔 〕円（ ）差異

問題3

問1

ア() イ() ウ()

問2

問題 1

問 1		等級製品 P	等級製品 Q	計
	直接材料費	kg	kg	kg
	加工費	kg	kg	kg

問 2 等級製品 P の正常減損費 [] 円
 等級製品 Q の正常減損費 [] 円

問 3 等級製品 P 完成品原価 [] 円 月末仕掛品原価 [] 円
 等級製品 Q 完成品原価 [] 円 月末仕掛品原価 [] 円

問 4 等級製品 Q 当月製造費用 直接材料費 [] 円 加工費 [] 円

問 5	借 方	金 額	貸 方	金 額

問 6

.....

.....

.....

.....

問題 2

問 1 標準配賦率 [] 円 / 時 製品 X の原価標準 [] 円 / 個

問 2 パーシャルプランの場合

仕掛直接材料費

前月繰越 []	製 品 []
材 料 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

仕掛直接労務費

前月繰越 []	製 品 []
賃 金 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

仕掛製造間接費

前月繰越 []	製品 []
製造間接費 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

シングルプランの場合

仕掛直接材料費

前月繰越 []	製品 []
材料 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

仕掛直接労務費

前月繰越 []	製品 []
賃金 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

仕掛製造間接費

前月繰越 []	製品 []
製造間接費 []	次月繰越 []
原価差異 []	原価差異 []
[]	[]

問3

直接材料費総差異		有利・不利		
価格差異		有利・不利	数量差異	有利・不利
直接労務費総差異		有利・不利		
賃率差異		有利・不利	時間差異	有利・不利
製造間接費総差異		有利・不利		
予算差異		有利・不利	固定費能率差異	有利・不利
変動費能率差異		有利・不利	不働能力差異	有利・不利

数字にはプラス・マイナスをつけず、有利な差異か不利な差異かに○をすること。

問4

.....

.....

.....

.....

問題 1

問 1

全社の売上高 [] 千円 全社の営業利益 [] 千円

問 2

A事業部 [] 千円 B事業部 [] 千円

問 3

.....

.....

問 4

A事業部 [] % B事業部 [] %

問 5

(採用 不採用) 解答を○で囲むこと

理由

.....

問 6

.....

.....

問 7

指標名 ()

採用しない場合 [] 採用した場合 []

問 8

目標達成売上高 [] 千円

問題2

問1

.....

.....

.....

問2

(単位：円)

活動名	活動原価	X製品への配賦額	Y製品への配賦額
段 取	[]	[]	[]
機 械 関 連	[]	[]	[]
出 荷	[]	[]	[]
そ の 他	[]	[]	[]

(単位：円)

	X製品	Y製品
月 末 仕 掛 品 原 価	[]	[]
完 成 品 原 価	[]	[]
当 月 着 手 分 の 完 成 品 単 位 当 たり 製 造 間 接 費	[]	[]
前 月 製 造 間 接 費 単 価 より (い ず れ か 適 切 な ほう に ○)	上 昇 下 落	上 昇 下 落

問3

(単位：円)

当月着手分の単位当たり低減額

X 製 品	[]
Y 製 品	[]

問題 1

問 1

補助部門費配賦後の切削部門費予算 [] 円
 内訳：変動費 [] 円 固定費 [] 円

補助部門費配賦後の組立部門費予算 [] 円
 内訳：変動費 [] 円 固定費 [] 円

問 2

切削部門の予定配賦率 [] 円/時間
 組立部門の予定配賦率 [] 円/時間

問 3

補助部門費配賦後の切削部門費予算 [] 円
 内訳：変動費 [] 円 固定費 [] 円

補助部門費配賦後の組立部門費予算 [] 円
 内訳：変動費 [] 円 固定費 [] 円

問 4

切削部門の予定配賦率 [] 円/時間
 組立部門の予定配賦率 [] 円/時間

問 5

動力部門費

諸	口	2,677,200	切 削 部 門 費 []
() []		組 立 部 門 費 []
原 価 差 異 []		() []
		原 価 差 異 []	

修繕部門費

諸	口	1,284,700	切 削 部 門 費 []
() []		組 立 部 門 費 []
原 価 差 異 []		() []
		原 価 差 異 []	

(注) 記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

問6

特徴：
前提：

問7

仕 掛 品	
月初仕掛品	3,255,305
材 料 [製 品 [
賃 金 給 料 [仕 損 費 [
切 削 部 門 費 [() [
組 立 部 門 費 [月 末 仕 掛 品 [
() []

(注)記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

問題2

問1

完成品総合原価 原材料費 [] 円
 完成品総合原価 第1工程加工費 [] 円
 完成品総合原価 第2工程加工費 [] 円

問2

問1では、第1工程の工程完了品原価を()として第2工程に振り替えるのではなく、二つの工程を()の工程とみなして、最終完成品と各工程の月末仕掛品の原価を計算している。また、原価配分方法として、平均法を採用している。そのため、この方法では、第1工程の月末仕掛品原価の中に、第2工程の()原価の一部が含まれる。このことは、加工作業の流れに沿って正確な原価を計算する考え方にもとづくと、望ましくないといえる。

問題 1

問 1

①

②

問 2

損益分岐点売上高

千円

安全余裕率

%

問 3

経営レバレッジ係数

問 4

営業利益増加額

千円

計算過程：

問 5

東大塚電工の安全性は[改善した ・ 悪化した ・ 不変である]。(該当するものを○で囲むこと)

その理由：

問 6

その理由：

問題2

問1

(単位：円)

第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度

問2

[]年度目で回収することができる。

問3

投下資本利益率が [] %なので、この投資案は[採用すべきである ・ 採用すべきでない]。
 (該当する方に○をつけること)

問4

正味現在価値(NPV)が[]円なので、この投資案は[採用すべきである ・
 採用すべきでない]。(該当する方に○をつけること)

問5

Memorandum Sheet
